

熟年

取材・文／はらみづほ 写真／穂野孝行

オーガニック シフト。



木、草、土、紙でできたオーガニック和室。ふすまの和紙は柿渋です。



小粒でしっかり高性能。シロアリ対策、オーガニックも完備の、オーガニックハウス。



和室につながるサロン空間。木姿を生かした枠なベンチは、木工が得意な旦那様のお手製。



脱履も、隠し使う知恵が満載。



奥さま

娘さん

旦那さま

ご両親が建てた大きな家を、改築ではなく新築。自然に戻る、少し小さな家に一新しました。

大人3人の生活にちょうどいい広さのダイニングキッチン。道産木材をふんだんに使った空間で、五感もリラックス。

「還暦新築」の決断。

ご夫婦とも還暦前後で新築を決意されたMさんご一家。「最初にこういうのを作つたんです。手渡されたA4用紙2枚の『新築計画メモ』に簡易書きでまとめられていたのは、『家族のプロフィール』、『お客様の種類と頻度』、『家族の将来像』、『具体的な要望』、『予算』の5項目。ご家族みなさんの意見がわかりやすくとまとまっていて、読むだけで暮らしの様子がイキイキと伝わってきます。みんなの想いをまとめたいこんな計画書があれば、事実の共有もでき、効率もいいですね。

「結婚後、両親の持ち家に同居していたのですが、父も母も亡くなったので、リフォームと新築で迷った結果、同じ敷地に思い切つて新築しました」。

以前から、自然と循環する暮らしを心がけてきたご夫妻は、近所にできたモデルハウスや西條さんの新聞連載などを通じて西條デザインを知り、百合が原の事務所へ。考え方や仕事ぶりに共鳴してじっくり打ち合せを重ね、約1年後、大きさもデザインも以前とは一新した、自然素材の家が完成しました。

生き方は、家に出る。

「前の家と大きく違うので、今は新しい暮らしに心身を慣らしている途中で

すが、あったかいし、気持ちいいし、期待以上の出来上がりで、驚きと納得でいっぱいです。建てたら終わり、ではないパートナーシップも安心で嬉しいですね。道産木材、和紙、珪藻土とホタテ貝の塗り壁……どれも自然素材なので呼吸しているのがわかるし、新築でもシックハウスの心配は全くなしと、奥様も「危険な粗大ゴミになつてしまう心配のない自然に戻る家は、気持ちいいですね。隅々まで明瞭会計だったのも気持ちよかったです」と、旦那様もニコニコ。

「この家を建てて、生き方は建築ともつながるんだと知りました。物の整理は大変でしたが、自分サイズのコンパクトライフに大満足です」。還暦の新生活には、今を生きるヒントが満載でした。

この記事の続きは、HPでお楽しみください。
<http://www.saijo-d.com>

改築か、新築か。



エコデザイナー
西條 正幸

古い家の悩みどころですね。古いものを大切に使うのは大切なこと。無添加の自然素材で新築並みの「自然派住宅」に大改修することも可能ですが、コストは新築の約8割かかります。不要になった空間をシンプルにしてコストバランスを保ったMさんの選択は、長い目で見てと正解、ではないでしょうか。

06

資料請求

BiO+
生きたバイオプラス西條デザイン

◎企画・設計 有限会社 バイオプラス西條デザイン
本社:〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581